

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 12 月 12 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100348		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 花咲楼		
所在地	広島市東区尾長東2丁目6-34 (電話) 082-568-7007		
自己評価作成日	平成25年11月4日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100348-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成25年11月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

スタッフ全員が認知症の理解を深め、出来る限り薬に頼ることなく、自由な生活環境と家庭的な雰囲気の中で心穏やかに落ち着いた毎日を過ごして頂く。
必要最低限の介護で自立を保ち、尊厳を守る。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、同グループが運営・隣接するグループホームやデイサービス、訪問看護ステーション等と連携しながら、運営理念「相手本位の心」の実現に向けて全職員で取り組んでいる。特徴として①利用者一人ひとりのできる事、持っている能力を活かせるように支援し、できることはやって頂くを基本に、風呂は浴槽に利用者自身が足をしっかり上げて入る。着替えは利用者自身で行う。口をしっかりと開けるなど職員は見守り支援を行っている。②朝起きる時間や就寝時間、食事の時間も個別に対応し、利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた暮らしを支援している。③利用者のやりたいようにやっていただくことを重視し、自由な生活環境と家庭的な雰囲気づくりを心掛けている。職員は明るく、利用者に寄り添いながら、利用者本位のサービスにチームで取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	相手の立場を尊重し、出来る限り自立した生活が送れる様に介助させて頂いています。	事業所理念を事務所に掲示し、申し送りや月1回のミーティング時に職員全員で確認・共有し、日々の実践に繋げている。	今後は、全職員で話し合い、理念を基に行動目標を作成し、実践・評価を行い、理念の実現に向けて、一層努力される事を期待します。また、職員個々の目標も作成し日々の実践に繋げて頂きたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎月10日にある町内会の集まりに出席させて頂いています。また恒例となった夏祭りを開催し地域の皆様との触れ合いの場も作っています。	町内会の定例会に出席し、清掃活動や盆踊りなど地域行事に積極的に参加している。日常的に散歩や買い物などに出かけ、地域の人たちと気軽に挨拶を交わしている。また、町内会や保育園、ボランティア等の協力の下、ホーム祭りを開催し、家族や地域の人々が多数参加し交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	なかなか地域の方への情報発信が難しかったのですが、管理者が来年3月に認知症アドバイザーの講座を受講する予定となっていますので、その後サポーター養成講座を開催する予定です。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	社長にも参加して頂き、入居者様、ご家族様のご意見ご要望を伺い、速やかな業務改善に努めています。	運営推進会議は、同法人のグループホームと合同で家族会と合わせて開催し、家族、町内会長、地域包括支援センター職員などが出席し、活発な意見交換がなされている。そこでの意見をサービス向上に活かしている。引き続き、運営推進会議の日程を工夫するなどし、行政担当者や福祉関係者の参加を呼びかけて頂きたい。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議を日曜に開催していますのでなかなか市の担当の方には参加して頂けません。変更申請などは市役所まで持参するようにしています。	日頃は地域包括支援センターの担当者と連絡を密に取り、相談をしている。市担当者に運営推進会議への出席案内や報告をし、協力関係を築くように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>人員配置上夜間などは玄関を施錠しています。個人を対象とした拘束は行っておりません。</p>	<p>日中は玄関の施錠をせず、散歩など利用者一人ひとりの希望に添い、職員が外出支援をしている。ミーティングで身体拘束マニュアルを全職員で周知徹底し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>年間研修計画を策定し、外部研修や事業所内研修に全職員が参加し、一層、職員の意識の高揚を図って頂きたい。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待に関する社内勉強会に参加して知識を深め、原因不明のあざがある等の異変があれば速やかに看護職員と管理者に報告をする体制を作っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>スタッフにより知識にかなりバラつきはありますが、少しずつ勉強しています。管理者はご家族と連携をとって、必要であれば成年後見制度を利用して頂いています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項の説明も含めて契約書を見ながら口頭にて行い、疑問点にはその場で答え、契約期間中での料金改定時には予め書面にて確認した上問い合わせには管理者が誠意を持って対応しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>頻繁に来訪されるご家族はもちろん、あまり来られないご家族にも月に1回程度は連絡を取り入居者の状態を説明し、要望などを伺うようにしています。</p>	<p>家族の面会時や家族会で意見や要望を聞くようにしている。また、来訪の少ない家族には、月に1回程度連絡を取り意見や希望を聞くようにしている。得られた情報は職員に伝え、協議し、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的な面談を行い、スタッフの意見を聞き社長とのミーティングの時に報告しています。	管理者が日頃から職員と何でも言える関係づくりを心掛けている。毎月のミーティングの中で職員の意見や提案を聞き、運営に反映させている。遠方の外出を企画し、利用者一人ひとりのプランに反映したいとの意見があり、実践に向けて検討されている。	
12		代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月管理者が作成したシフトを確認し、労働基準法上問題が無いか確認して、賞与の際には日々の業務実績も考慮している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修、社外研修の機会を増やし研修への参加を促すと共に、日常疑問に思ったことは管理者より指導しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者は他施設に見学などに何う等の交流をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に必ずご本人と面談を行い、ご希望などを伺い納得のもと入居頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>何故入居を考えたのか、在宅介護で何が大変だったかを伺い、入居する事でのメリット、デメリットをお話しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>在宅では認知症の方を24時間介護するのが困難である事から相談に来られる事がほとんどで、他のサービスは考えにくいケースの方に入居して頂いています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自分で出来る事は本人にやって頂き、洗濯物を畳む等出来る事は手伝ってもらっています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者からご家族に電話をしたいと要望があれば特段の事情が無ければ対応して頂き、通院などはご家族にお願いしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居者の友人との連絡のお手伝いをさせて頂いたり、なじみのお店には御家族様とお出かけして頂いています。</p>	<p>利用者の知人や友人、馴染みの理・美容院などの来訪があり、職員は関係が途切れないよう支援に努めている。また、利用者の友人との連絡を手伝ったり、今までの行きつけの店に家族と出かけるなどの支援が行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	多少の喧嘩もコミュニケーションと考え無闇に入居者同士のお話に割り込まないようにしています。孤立しがちな入居者には参加しやすいレクリエーションを提供し孤独にならない様にしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も施設に郵便物が届く事もありますので、それらの対応や、退去後にお亡くなりになられた時は葬儀に列席させて頂いたりしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時には管理者が聞き取りを行い、入居後はスタッフをご希望を伺っています。実現不可能なもの以外は本人の希望に沿ったサービスを提供しています。	職員は日常の会話の中から利用者一人ひとりの思いや希望を把握し、全職員で共有し、個別支援に結びつけている。自宅へ帰りたい願望の利用者の自宅の鍵探しを、職員と一緒にする事もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族様から出来る限り細かく伺い、本人にもお話して頂いています。担当のケアマネからも聞き取りをしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録やスタッフからの情報をもとに本人の様子を見ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	御家族、入居者の要望を伺い、参加可能なスタッフ全員でカンファレンスを行いプランを作成しています。	基本的には3ヶ月に1回ケアカンファレンスを行い、担当者の意見をもとに、介護職員で話し合い介護計画を作成している。介護計画の作成に当たっては、利用者・家族・関係者から意見や要望を聞き、反映させている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	ケース記録や連絡ノートを活用しスタッフ間で情報を共有し、ケアマネに報告してケアプランに反映させています。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	入居者の実娘がお亡くなりになられた際、通夜、葬儀共にご家族が対応困難と相談を受け、管理者が同行しました。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	近所のスーパーに買い出しに出たり、散歩に出た時、近所の子供と世間話をしたりしている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	かかりつけ医が定期的に（月2回程度）往診に来て下さっています。他科へ受診の際にはご本人、ご家族の希望を尊重して受診して頂いています。	基本的には、月2回の内科医（協力医）と週1回の歯科医による訪問診療が行われている。本人や家族が希望するかかりつけ医の受診は家族にお願いしているが、必要に応じて職員が同行している。受診後は家族へ状況を伝え情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>気付いた事は看護師か管理者に速やかに相談し、必要であればかかりつけの津谷内科に連絡を取り指示を仰いでいます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>緊急入院時は必ず管理者が同行し既往歴、日常生活、入院までの経緯を説明しています。入院中はお見舞いに伺い担当看護師と情報交換をしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>肝硬変の入居者がおられ、ご家族の希望で延命措置などは行わない旨をかかりつけ医とも相談して決定しており、スタッフにも説明を行っています。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、事業所としての指針や対応を説明し、意思確認書を取り交わしている。現在、家族・職員・協力医・関係者が一体となって終末ケアに取り組んでいる。隣接の訪問看護ステーションの看護師と連携を図り、24時間支える体制が作られている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変時にはもちろん不安に思った時はいつでも管理者に連絡するように指導しています。簡単な応急処置はほぼ全てのスタッフが行えます。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練を実施すると共に、火災時の初期対応マニュアルをデイルームの電話の下に常備しています。</p>	<p>隣接の同法人のグループホームと連携し、年2回の定期的な避難訓練が行われている。</p>	<p>避難マニュアルを策定し、夜間を想定しての訓練も行われているが、1・2階の利用者が昼夜問わず避難できる具体的な方法を、職員全員で確認・共有して頂きたい。また、地域住民に訓練への参加を呼びかける等地域との協力体制を築いて頂きたい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	夜間を除き訪室の際には必ずノックをする。着替えの時には必ずドアを閉める。排泄中は席を外すなどの対応をしています。	全職員は、入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応を十分理解・共有し、特に排泄時は席を外したり、着替えをする時はドアを閉める等のケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	水分補給の時には飲みたい飲み物を伺ったり、日常のお手伝いも強要はせずお願いをしています。また足浴の希望も可能な限り伺っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	朝食の提供時間を7時～8時までと幅を持たせてあり、起床された方から提供するなど入居前の生活習慣を尊重しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧品や乳液の購入を援助したり、美容院の方に毎月訪問して頂きカラーやパーマなどの対応もしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は弊社配食部門より届きますので、入居者の嗜好や提供した食事の評判を伝える等してより入居者の希望に合う食事を提供するようにしています。	食事については、グループ内の配食サービスを利用しているが、季節のメニューを基本に利用者の意見も反映させながら、また、利用者の好みのおやつを作るなど食事が楽しみなものになるよう工夫している。誕生日には皆でケーキを作り、職員は会話を楽しみながら支援している。利用者と家族と一緒に外食に出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	水分摂取量を記録に残し、いつもより少ない時にはゼリーを提供するなど気を配っています。栄養バランスは配食部門の管理栄養士に相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	出来る限りご自身で口腔ケアをして頂くようにしていますが、仕上げは介助しています。また毎週火曜日に訪問歯科に来て頂いているので連携しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄リズムを記録をもとに確認し、間隔が開いている様なら声掛けを行い失禁を防いでいます。夜間も安易にオムツ介助せず、ポータブルトイレを使用しています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。夜間もなるべくオムツを使用しないよう取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘がないように水分補給を徹底し，毎日少しでも運動して頂くようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	夏季は週3回、冬季は週2回を目処に介助を行っていますが、ご希望があれば足浴を実施し気持ちよく過ごせる様になっています。	入浴は、利用者の希望や体調に合わせて、夏は週3回、冬は週2回（午前と午後）を基本としているが、希望があれば毎日でも応じるようにしている。また、利用者の希望で足浴も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間は決まっていませんので眠くなるまで温かい飲み物を召し上がって頂いて雑談したりTVを見て頂いています。夜間巡回時には音を立てない様に注意しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬時は飲み込むまで必ず直近で見守り、薬の変更があった場合は看護師よりスタッフに伝達してもらっています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>人によってレクリエーションにも好き嫌いが有りますので、できるだけ個人の嗜好に合ったレクリエーションを提供しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>遠くに外出するのは難しいですが、散歩などは日常的に行っています。</p>	<p>利用者の体調や希望に添って、近隣公園に出かけたり、地域の商店街に買い物に行くなど、支援に努めている。また、家族と一緒に出かけられるように支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>散歩に出かけた時などに飲み物を購入して頂いたりできる程度のお金はご家族様と相談して所持して頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話に関しては希望があればかけて頂いています。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	日中でも廊下が暗くなってしまうので常に電気を点けたり、定期的に清掃して明るい施設を心掛けています。	共用空間は広く、明るさに配慮し、居心地よく過ごせるような配慮がされている。また、1階のベランダにはテーブルと椅子が置かれ、利用者がゆったりとお茶を飲んだり、会話を楽めるように工夫をしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	テーブルは4～5人がお話しでき、ソファでは2～3人がお話しできるようになっています。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	出来る範囲で在宅の状態を確保しています。家具、食器類は以前から使っていた物を、人によっては写真を飾って頂いたりしています。	使い慣れた寝具やベッド・タンス・カーテン・仏壇など本人の馴染みの物や好みの物を持ち込むなど、居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、自宅と同じようなレイアウトになるように配慮している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	各居室には名札を付けて間違いが無い様にしてあります。施設はバリアフリーで自由に動けるようになっています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム花咲楼

作成日 平成26年1月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念から具体的な目標が出来ていない。	施設目標、フロア目標、個人目標と具体的な行動目標を作る。	スタッフとミーティングを行い全員が納得できる目標を作る。	2ヶ月
2	6	これまで身体拘束が必要なケースが無かった為、細かい部分での身体拘束に対するスタッフの理解度が不明瞭。	身体拘束に対する理解を深める。	社内研修や施設での勉強会を通じて全スタッフが身体拘束に対する知識を深める	3ヶ月
3	35	避難時の具体的な対応をスタッフ全員が共有する必要がある。地域との協力体制ができていない。	避難マニュアルを完璧に理解する。 地域住民と連携を取り避難できる体制を整える。	どのスタッフでも避難の指示が出せるように準備をし、地域住民参加で避難訓練を行う。	3ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。